



ニュースリリース 平成 27年 7月 27日

ロボットスーツHAL[®]作業支援用(腰タイプ)の導入について

常陽銀行(頭取 寺門 一義)は、このたび、CYBERDYNE株式会社(代表取締役社長 山海 嘉之)が開発・製造・販売する「ロボットスーツHAL[®]作業支援用(腰タイプ)」を地方銀行として初めて導入いたしますので、下記のとおりお知らせいたします。

当行では、大量の現金の仕分けや搬送作業等を行う職場において、従業員の身体にかかる負担の低減が大きな課題となっていました。今回、同社が開発したロボットスーツを導入することで、作業にかかる腰部等への負担を低減し、職場での労働環境の改善につなげてまいります。

当行は、今後とも、従業員の働きやすい環境の整備に向けて、積極的に取り組んでまいります。

記

使用開始日	7月28日(火)
製品の概要	「HAL (Hybrid Assistive Limb) 作業支援用(腰タイプ)」 <ul style="list-style-type: none">• 身体の腰部に装着するタイプの作業支援用ロボットスーツ。• 肌に貼り付けた電極シートを通して、脳から発せられる生体電位信号を読み取り、人の動きをアシストすることで、重量物を持ち上げるときや運ぶときの腰部への負荷を低減する。アシストの強さは5段階調整可。• 交換式専用バッテリー駆動(駆動時間約3時間、充電時間約45分)なので移動範囲の制約はない。重量約3.0kgと軽量で、狭い場所でも邪魔にならず使用できる。• 装着時間は1~2分程度。

以上

<ご参考> ロボットスーツHAL® 作業支援用（腰タイプ）



Prof. Sankai, University of Tsukuba/CYBERDYNE Inc.